

《小学生の部》

佳作（警察庁交通局長賞）

愛知県名古屋市立上野小学校

3年 早稲田 怜

私に加がいの者にならないために

夏休みに家族と豊田市の交通安全学習センターに行きました。そこでは、ゴーカートなどの乗り物に乗ることができたり、実さいの道路のように信号機や横たん歩道があり、楽しみながら交通ルールを学ぶことができました。

私は自転車シミュレーターを体験しました。始めは自転車で進むことはかん単だと思っていました。しかし、実さいにやってみると、曲がり角で歩行者にぶつかってしまい、相手がたおれてしまいました。ぶつかったげんいんを考えると、曲がり角のかべで歩行者が見えなくて、気づくのがおそくなったことだと思います。また、かべのすぐ横を走っていたのでより発見がおくれたのだと思いました。もう一つ挙げるならば、スピードが速かったのかもしれません。ぶつかることはさけられないとしても、もう少しスピードがおそければ、相手のけがは最小げんにすんだのではないかと思います。

私は三年生になって自転車で行動することがふえてきました。ふだんは気にしていなかったけれど、よく考えてみると、私がよく走る公園までの道にある曲がり角もあぶないことに気づきました。今後は、角を曲がる時には、「かべの向こうから歩行者が来ているかもしれない。」「もしもの時のためにすぐ止まれるスピードまでげん速する。」という二点に注意して走ろうと思いました。

そして、万が一私が自転車に乗っている時に歩行者とぶつかった場合は、まず最初に、相手がけがをしていないかを聞くこと、次にお母さんに連らくをして、けがをしていたら周りにいる大人に助けを求めることを家族で話し合いました。

豊田市交通安全学習センターに行ったことで、自転車に乗る時に気を付けることを学ぶことができて、良い体験になりました。私にとって身近な自転車でも、人に大けがをさせてしまう可のうせいがあるという意しきを持って運転しようと思います。